

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-519452(P2004-519452A)

【公表日】平成16年7月2日(2004.7.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-025

【出願番号】特願2002-554133(P2002-554133)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 39/39

A 6 1 K 39/00

A 6 1 K 39/02

A 6 1 K 39/12

A 6 1 P 35/00

【F I】

A 6 1 K 39/39

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/00 K

A 6 1 K 39/02

A 6 1 K 39/12

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月28日(2004.12.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

抗原を含み、該抗原のインビボでの放出が遅延した皮下、筋肉内、皮内または経皮投与ワクチンの調製のためのポリカチオン性化合物の使用。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

該抗原が、該ポリカチオン性化合物なしで投与した場合に個体の生体内での該抗原の分布のために副作用を有する抗原である、請求項1に記載の使用。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

貯蔵効果の誘発のための皮下、筋肉内、皮内または経皮投与ワクチンの調製のためのポリカチオン性化合物の使用。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 8】

該ワクチンが、炎症を引き起こす可能性のある化合物をさらに含む、請求項 1ないし 7 のいずれかに記載の使用。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 9】

該ワクチンが、10分未満、好ましくは5分未満、特に1分未満の投与部位での薬理学的半減期を有する化合物をさらに含む、請求項 1ないし 8 のいずれかに記載の使用。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 10】

該ワクチンが、免疫原性の核酸分子をさらに含む、請求項 1ないし 9 のいずれかに記載の使用。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 11】

該ワクチンが、イノシン含有ODN (I-ODN) をさらに含む、請求項 1ないし 10 のいずれかに記載の使用。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 12

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 12】

該ワクチンが局所的に作用するワクチンである、請求項 1ないし 11 のいずれかに記載の使用。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 13】

該ワクチンがさらに活性物質を含み、該活性物質が該ポリカチオン性化合物に対する親和性を有する、請求項 1ないし 12 のいずれかに記載の使用。